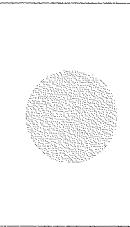


卷之三

四三〇



河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-25
郵便番号 980-8660

宣城寧南海岸林業生

公益法人計画事業「成績と育成」

東日本大震災の津波で失われた海岸林再生に向けた苗木生産と被災者の生計支援を組み合わせて実現すれば被災地の被災農家らで結成して試みが、被害の大きかつた宮城県内で計画されれている。苗木の育成を地元の被災農家で担うことで、国内外で環境保全組み。	事業を手掛ける公益財団法人オイスカ(東京)が全面支援する取り組みで、実現すれば被災地の被災農家らで結成して試みが、被害の大きかつた宮城県内で計画されれている。苗木の育成を地元の被災農家で担うことで、国内外で環境保全組み。	事業を手掛ける公益財団法人オイスカ(東京)が全面支援する取り組みで、実現すれば被災地の被災農家らで結成して試みが、被害の大きかつた宮城県内で計画されれている。苗木の育成を地元の被災農家で担うことで、国内外で環境保全組み。	事業を手掛ける公益財団法人オイスカ(東京)が全面支援する取り組みで、実現すれば被災地の被災農家らで結成して試みが、被害の大きかつた宮城県内で計画されれている。苗木の育成を地元の被災農家で担うことで、国内外で環境保全組み。
海岸林は被災県で最も広い約53・3㌶で、50万本は県内の海岸林再生に必要と想定される量の10分の1程度。事業費は10年間で3億円を見込	官城県南の海岸林の復旧工事は、市町有林を含めた国の直轄事業が想定されている。オイスカは復旧工事用に苗木を提供	官城県南の海岸林の復旧工事は、市町有林を含めた国の直轄事業が想定されている。オイスカは復旧工事用に苗木を提供	官城県南の海岸林の復旧工事は、市町有林を含めた国の直轄事業が想定されている。オイスカは復旧工事用に苗木を提供
だ。オイスカによると、宮城県南への植林を想定。10年間でクロマツを中心	して登録。県苗組を通じて種を購入し、オイスカが確保した用地で苗を育て苗木育成費の支払いを受けることで、賃金を収入を得られるようにす	る。	林野庁は「苗木の育成は時間かかる作業。どちらかといふと民間団体の連携についても検討していく」(研究・保全課)
に50万本(100㌶分相当)の生産を目指す。震災で浸水した宮城県内の海岸林は被災県で最も広い約53・3㌶で、50万本は県内の海岸林再生に必要と想定される量の10分の1程度。事業費は10年間で3億円を見込	だ。オイスカによると、宮城県南への植林を想定。10年間でクロマツを中心	して登録。県苗組を通じて種を購入し、オイスカが確保した用地で苗を育て苗木育成費の支払いを受けることで、賃金を収入を得られるようにす	る。

事記車門震父日本東

復興財源たばこ、相続税も検討
個人向け私的整理申請わずか
被災農家の力借り再生
環境共生型共同住宅を建設へ
集り、自信就活手帳!!

中日落合監督、今季限りで退団
暴力団排除条例を東北で初適用

河井新報本二台ページ <http://www.yamada-kishokan.com/>